

実質化された人・農地プラン

| 市町村名 | 対象地区名(地区内集落名) | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
|-------|---------------|-----------|----------|
| 薩摩川内市 | 湯田・西方地区 | 令和3年1月20日 | |

1 対象地区の現状

| | |
|--------------------------------------|--------|
| ①地区内の耕地面積 | 69.4ha |
| ②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計 | 38.8ha |
| ③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計 | 29.9ha |
| i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計 | 21.4ha |
| ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計 | |
| ④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 | 0ha |
| (備考) | |

2 対象地区の課題

| |
|-------------------------------------------------------|
| (1) 景観保護や鳥獣被害対策のため、耕作放棄地の刈り取り等を行っているが、鳥獣被害が絶えず苦労している。 |
| (2) 労力負担の増加・労働に対する対価との採算が合わず現状維持がやっとである。 |
| (3) 新しい担い手が見つからず、先が見えない。 |
| (4) 相続未登記農地があり、承諾が得られず、簡易な農地整備が出来ない。 |

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

| |
|-------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 地区の農地利用は認定農業者1経営体や基本構想水準到達者2経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。 |
| (2) 地域のリーダーとなる人材の育成や有志による組織化を行い集落営農組織化を目指す。 |

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

| |
|---------------------------------------------------------|
| 湯田地区 |
| (1) 湯田地区資源保全組合を中心に多面的機能支払交付金制度を活用し、農地・水路・農道等の管理を行う。 |
| (2) 耕作放棄地拡大防止の観点から、相続未登記農地の発生防止に努める。 |
| (3) 水田地帯であることから、二毛作による水田の活用や地域に適応した高収益作物を模索する。 |
| 西方地区 |
| (1) 西方地区コミュニティセンターを中心に休耕田の草払い等の管理を行い、優良農地の保全や景観づくりに努める。 |
| (2) 耕作放棄地拡大防止の観点から、相続未登記農地の発生防止に努める。 |
| (3) 水田地帯であることから、二毛作による水田の活用や地域に適応した高収益作物を模索する。 |